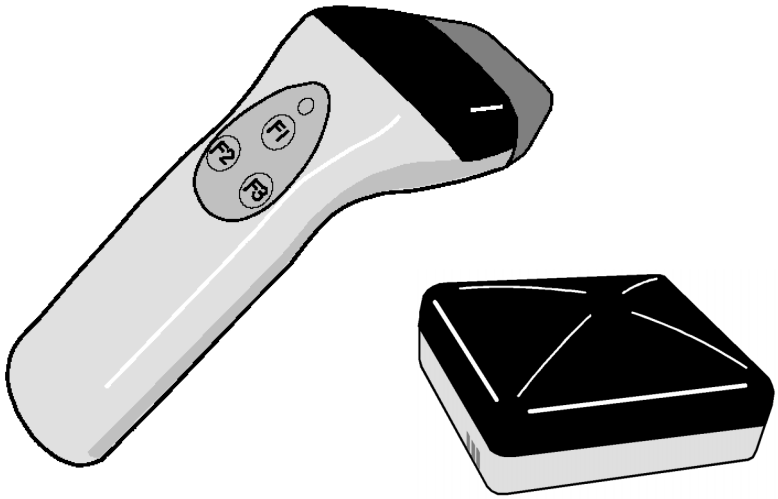
SystemGear
Always the next news

ムービングスキャナー
PDC-812iR 取扱説明書



日本システム開発株式会社

はじめに

　このたびは、ムービングスキャナＰＤＣ－８１２ｉＲをお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。

もくじ

第１章　お使いになる前に　1

１．１　梱包品の確認　1

１．２　本装置の特長　3

１．３　安全上の注意（必ずお守りください）　4

１．４　使用上の注意　10

第２章　本装置の取扱　12

２．１　各部の名前とはたらき　12

通信ユニット　12

スキャナ　14

２．２　使用前の準備　15

装置の接続　15

ご使用の前の準備　17

ＡＣアダプタでのご使用　18

２．３　本装置の使い方　19

電源のいれかた　19

通信ユニットの置き場所　20

バーコードの読ませかた　21

ファンクションスイッチ　21

ＬＥＤとブザーの動作　22

複数台のご使用　24

第３章　本装置の仕様　25

３．１　製品仕様　25

３．２　困ったときは　26

お問い合わせ　27

付　サンプルバーコード　28

本書の読みかた

■本書の内容

第１章　お使いになる前に
本装置をお使いになる前に確認していただきたいことを説明しています。
（本書の説明は出荷設定を想定して説明しています。）

第２章　本装置の取扱
本装置の具体的な取扱方法について説明しています。

第３章　本装置の仕様
本装置の仕様やトラブルが起こったときの対処方法を説明しています。

■表記上のお約束

注意　本装置を使用する際に注意していただきたいことを説明しています

メモ　本装置を使用する際の補足的なことを説明しています。

第１章　お使いになる前に

梱包品の確認、本装置の特長、使用上の注意事項について説明しています。

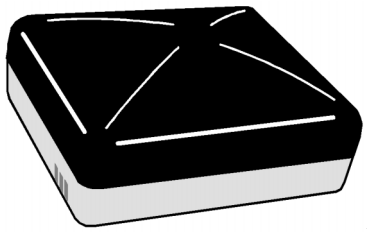
１．１　梱包品の確認

お買い求めになったパッケージには以下のものが梱包されています。お使いになる前に必ずご確認ください。なお梱包には万全を期しておりますが、万一不足品や破損品がありましたらお買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

●スキャナ

スキャナ	１本
ハンドストラップ	１本
スキャナ取扱説明書	１部
単三型アルカリ乾電池(動作確認用)	２本
８１２ＤＡＩセット	１個
単三型ニッケル水素充電池	オプション
専用充電器（単三型ニッケル水素充電池用）	オプション

●通信ユニット



通信ユニット	１台
ＡＣアダプタ	１個
取扱説明書（本書）	１冊
キーボードインターフェースケーブル	１本（PDC-812-XXX-I2 に標準添付）
ＲＳ２３２Ｃインターフェースケーブル	１本（PDC-812-XXX-D1 に標準添付）
セットアップマニュアル	オプション

本機をお使いになる前に、弊社の保守サービスを受けるためにユーザー登録を行ってください。ユーザー登録は下記ホームページから登録してください。

https://www.systemgear.com/support/regist/web_form.html

１．２　本装置の特長

本装置はバーコードを可視光レーザで読取ることができるバーコードスキャナ装置です。読取ったデータは赤外線インターフェース（ワイヤレス）にて通信ユニットへ転送しホスト機器（パソコン）にはキーボードイメージまたは、ＲＳ２３２Ｃで送ることができます。

●赤外線通信によるワイヤレス機能

スキャナにわずらわしいケーブルがないためバーコードの読取り動作がスムーズに行えます。

●特別なソフトウェアは不要 (キーボードインターフェース仕様の場合)

ホスト機器（パソコン）へのデータ転送はキーボードインターフェースを切り替えれば、専用のドライバーソフトや特別なアプリケーションソフトがなくても、ご購入いただいてすぐご使用いただけます。

●多種類のバーコードの読取りが可能

実用に供されているＪＡＮ（ＵＰＣ／ＥＡＮ），ＣＯＤＡＢＡＲ(NW－７)，２ｏｆ５（インターリーブド，インダストリアル），ＣＯＤＥ３９，ＣＯＤＥ１２８、ＥＡＮ－１２８（Ver2.00 以降）などに対応しており広範囲の用途に使用できます。

!注意　本装置での２次元バーコードの読取りは出来ません。

●動作状況をブザーとＬＥＤで表示

バーコードの読取りや動作状況をスキャナと通信ユニットのブザーとＬＥＤで確認することができます。

!注意　キーボードインターフェースでのデータ転送では確実にホスト機器（パソコン）へデータを転送できたかどうかを装置自身で確認できません。データ転送の最終的な確認はホスト機器（パソコン）の画面等で確認してください。

１．３　安全上の注意（必ずお守りください）

ご使用になる人やその他の人への危害や財産への損害をあらかじめ防止するため、本装置のご使用の前に必ず本項の内容をよくお読みになり、必ずお守りくださるようお願いします。
お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を
次の区分で説明しています。

⚠危険　この表示の欄は「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

⚠警告　この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意　この表示の欄は「損害を負う可能性または、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵区分で説明しています。

：この記号は、してはいけない禁止の行為であることを告げるもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれているものがあります。

表示	意　味
	機械を分解したり、カバー類を取り外すことで感電などの傷害が起こる可能性がある場合、分解を禁止するための警告表示。
	特定の条件に於いて、機器の特定の場所をのぞき見ることで傷害が起こる可能性がある場合、覗き込むことを禁止するための警告表示。
	特定の条件に於いて、機器の特定の場所に触れることで傷害が起こる可能性がある場合、触れることを禁止するための警告表示。

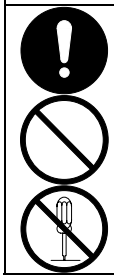
：この記号は、行為を強制したり内容を告げるもので、図の中に具体的な指示内容が描かれています。

表示	意　味
	特定しないが、一般的な機器の取扱上で何らかの注意が必要で、人に何らかの危害または、機器に何らかの障害が起こる可能性があることを促す警告表示。文字と併せて使用します。
	故障により、人に何らかの危害または、機器に何らかの障害が起こる可能性がある場合、電源プラグをコンセントから抜くことを促すための警告表示。

⚠危険

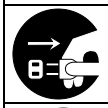
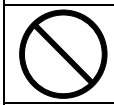
表示	意　味
	○本装置を分解したり改造したりしないでください。発熱・火災・けがやレーザビームによる失明の原因となります。
	○ＡＣアダプタは、必ず表示された電源電圧（交流１００Ｖ）を使用してください。他の電源で使用すると、発熱・火災・感電・けがの原因となります。
	○単三型ニッケル水素充電池（オプション）をご使用の場合は次の事項を必ず守ってください。発熱、破裂、液漏れにより火災・けがの原因となります。 ・火の中に投入したり、加熱したりしないでください。 ・（＋）極と（－）極を針金等の金属で接続したり、金属製のネックレス等といっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。 ・充電は必ず専用充電器（オプション）で行ってください。 ・分解、改造、半田付けはしないでください。 ・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。
	○単三型ニッケル水素充電池（オプション）の液が目に入ったら、失明の恐れがありますのでこすらずに直ちにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠警告

表示	意　味
	○万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
	○万一、機器の内部に水などが入った場合は、まずＡＣアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	○万一、機器の内部に異物が入った場合は、まずＡＣアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	○万一、この機器を落としたり、機器のケースを破損した場合は、ＡＣアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	○電源コードが傷んだら（芯線の露出，断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	○電源コードの上に重いものをのせたり、コードが機器の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	○電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	○この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流電源には接続しないでください。火災の原因となります。
	○単三型ニッケル水素充電池（オプション）をご使用の場合は次の事項を必ず守ってください。発熱、液漏れにより火災・周囲を汚損する原因となることがあります。 ・水や海水につけたり、濡らさないでください。 ・液漏れ、変色、変形など今までと異なる事に気が付いたときは使用しないでください。 ・外装チューブをはがしたり傷をつけたりしないでください。

表示	意　味
	○単三型ニッケル水素充電池（オプション）の液が皮膚や衣服に付いたときは、皮膚に傷害を起こすことがありますので直ちにきれいな水で洗い流してください。
	○本装置はクラス２のレーザ光を使用しております。レンズなど光学機器にてビームをのぞき見ないで下さい。失明や障害の原因となります
	○本装置はクラス２のレーザ光を使用しております。レーザ光でぐちよりビームをのぞきこまないようにして下さい。
	○本装置はクラス２のレーザ光を使用しております。レーザ光を人に向けて放射しないで下さい。

⚠注意

表示	意　味
	○本装置を油煙や湯気があたるような場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	○濡れた手でＡＣアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	○ＡＣアダプタを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
	○長い期間ご使用にならないときは、安全のため必ずＡＣアダプタをコンセントから抜き、スキャナから電池を取り出しておいてください。火災、周囲を汚損する原因となることがあります。
	○本装置のお手入れの際は、安全のためＡＣアダプタをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
	○強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	○指定以外の電池を使用したり充電したりしないでください。 電池の破裂、液漏れにより火災・けが・周囲の汚損する原因となることがあります。
	○小児には使用させないでください。
	○乳幼児の手の届かない所に保管してください。また使用する際にも、乳幼児がスキャナや使用機器から電池を取り出せないようにしてください。
	○充電方法については充電器付属の取扱説明書をよく読んで行ってください。
	○直接日光のあたるところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面など高温の場所に放置しないでください。
	○単三型ニッケル水素充電池（オプション）の保管の際は装置から取り外して０～４０℃の湿気の少ないところに置いてください。

１．４　使用上の注意

本装置の性能を損なわずに正常に動作させるため、下記の事項に注意してお使いください。

○本装置は、ＡＣ電源装置、精密な光学（赤外ＬＥＤ＆レーザ）装置および電子装置を内蔵しておりますので、次のような点に注意して取り扱ってください。

・本装置には、過度のストレスを加えないでください。故障の原因になります。

・規定温湿度範囲内で使用してください。

・本装置は、防水性を有しておりません。ケース内に水、湯茶等をいれないでください。ケース内に水等が入った場合、性能が損なわれることがあります。

・本装置を清掃する場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を薄めたものを少量含ませた柔らかい布で内部に水分が入らないように拭いてください。

有機溶剤等を使用しますとケース材質や赤外線透過フィルタが変質し性能が低下することがあります。

・ＡＣアダプタは汚れないように取り扱ってください。汚れは綿棒等を用いて拭き取ってください。

・レーザ光のウィンドには異物の付着やキズを付けないでください。レーザ光路が遮断されると読取り性能が低下します。

・スキャナ、通信ユニットの黒色部は赤外線透過フィルタになっています。この部分に異物を付着させたり手で覆ったりしないでください。光路が遮断されるとデータ通信性能が低下します。

○本装置が正常に動作するには、スキャナ、通信ユニットとの通信モードおよび、ホスト機器（パソコン）とのインターフェースが正しく設定されている事が必要です。動作異常の場合、確認してください。

○スキャナと通信ユニットの黒色部は赤外線送受信用窓となっており、その前面がＩＲ通信エリアとなっています。最良の通信状態となるように通信ユニット取り付けて下さい。

・　スキャナとの間に赤外線を遮るものがあると、データ通信性能が低下します。

・　赤外線の反射体を利用することにより、通信指向性を適宜に変更することが可能です。

○スキャナに使用できる電池には、単三型アルカリ乾電池と単三型ニッケル水素充電池（オプション）があります。各電池に記載された内容にしたがって正しくご使用ください。規定外の電池等を接続した場合安全性が損なわれ、大変危険です。前項の安全上のご注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。

○本装置の動作中は、動作範囲内において赤外線を用いる他の装置（テレビジョンのリモコン等）が動作不良となることがあります。

○本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ準拠の情報技術装置です。本装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

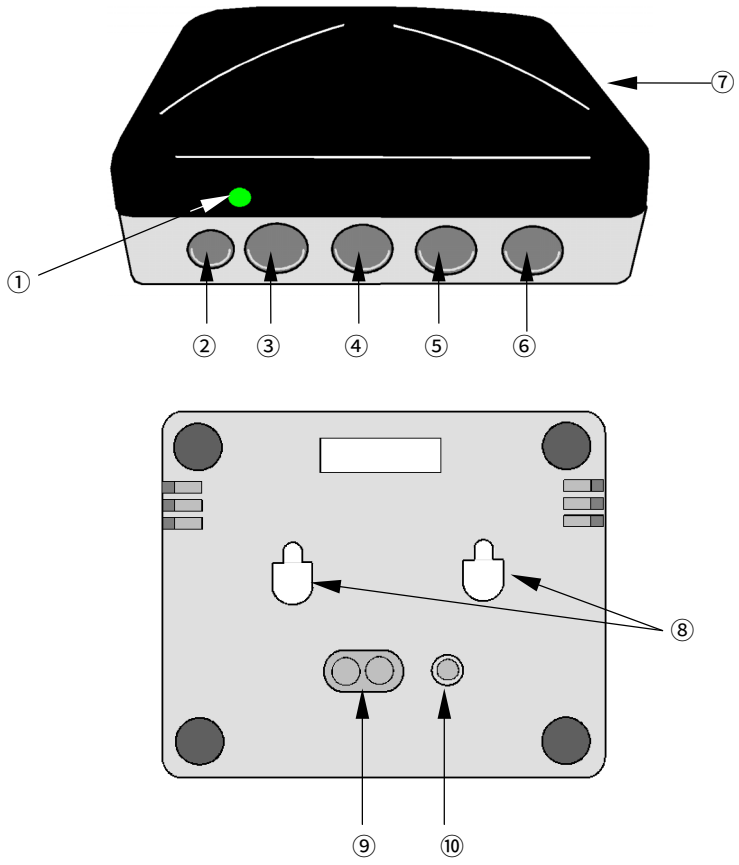
第２章　本装置の取扱

この章では本装置の接続方法やバーコードの読ませかたなど具体的な取扱方法について説明しています。

２．１　各部の名前とはたらき

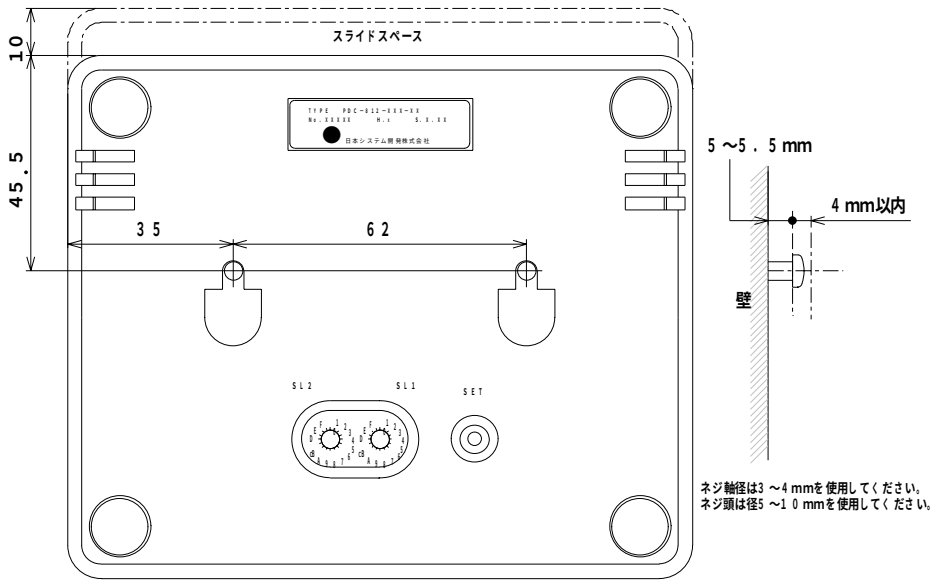
装置の各部の名前とはたらきを説明します。

通信ユニット

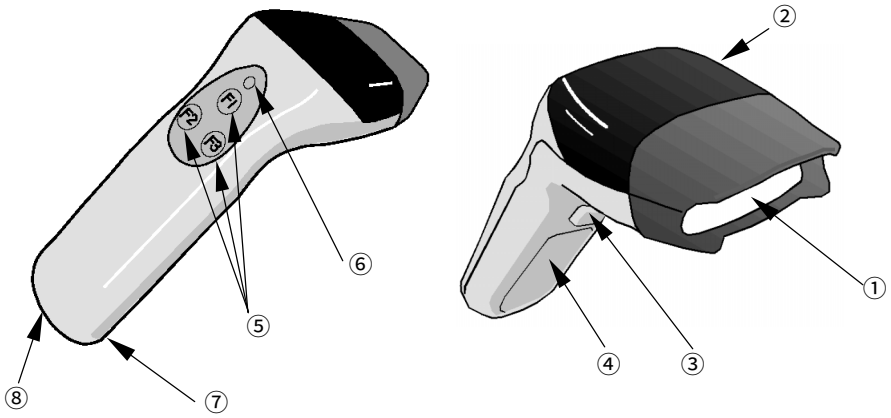


番号	名称	説明
①	動作表示ＬＥＤ	通信ユニットの状態を示します。 (緑:待機中／黄:処理中／赤:装置異常)
②	ＤＣ－ＩＮコネクタ	ＡＣアダプタを接続します。
③	ＣＯＭ コネクタ	ホスト機器 (パソコン) に接続するキーボード インターフェースケーブルを接続します。
④	Ｋ／Ｂ コネクタ	キーボードのケーブルを接続します。
⑤	ＲＳ１ コネクタ	ＲＳ２３２Ｃ出力コネクタです。
⑥	ＲＳ２ コネクタ	拡張インターフェース用ＲＳ２３２Ｃコネクタです。
⑦	赤外線透過フィルタ (赤外線送受信部)	スキャナとのデータ通信を行う部分です。
⑧	壁掛け用穴	通信ユニットを壁に取り付けるための穴です。
⑨	ＩＤ設定用ロータリスイッチ (ＳＬ２、ＳＬ１)	使用するスキャナとのＩＤ番号を設定するロータリスイッチ です。
⑩	セットアップスイッチ (ＳＥＴ)	各種設定を行う時に使用する押しボタンスイッチです。

【参考】　ＲＳ２コネクタに拡張インターフェースとして通信ユニット（オプション）を１台接続することができます。使用される場合は、機能制限としてスキャナ側の赤外線通信モード設定を単方向モードに設定する必要があります。壁掛けについては下図を参考にして下さい。



スキャナ



番号	名称	説明
①	レーザ光出口（ウィンド）	バーコードを読取るレーザ光を照射する出口です。
②	赤外線透過フィルタ （赤外線送受信部）	通信ユニットとのデータ通信を行う部分です。
③	読取りスイッチ	押下時バーコードの読取りを行います。
④	電池ホルダー	単三アルカリ乾電池２個又は、単三型ニッケル水素充電池２個（オプション）をセットします。
⑤	ファンクションスイッチ	任意に設定したコードを送信できるスイッチです。 Ｆ１，Ｆ２，Ｆ３の３つがあります。
⑥	動作表示ＬＥＤ	スキャナの状態を示します。 （緑：動作完了／赤：警告表示）
⑦	ストラップバー	ハンドストラップを取り付けるバーです。
⑧	ＡＣアダプタジャック	ＡＣアダプタを接続できます。 （緊急時の電源供給に使用。）

【参考】　単方向モードでは、スキャナ側のＬＥＤ表示、ブザー鳴動でのデータ通信確認ができません。
通信ユニット側でのブザー鳴動による確認のみとなります。

２．２　使用前の準備

各装置間の接続と使用前の準備について説明します。

装置の接続

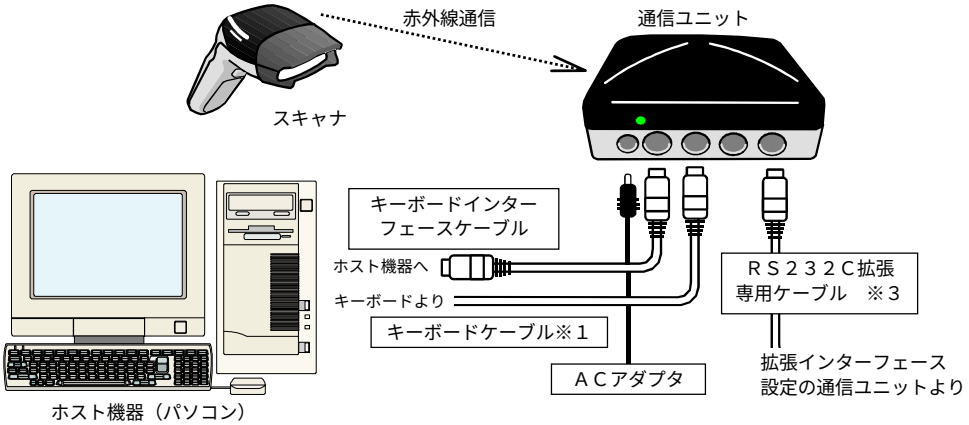
注意　各装置の接続時にはホスト機器（パソコン）も含めて電源を切った状態で行ってください。

注意　各装置の接続時には静電気に気をつけてください。あらかじめ手を金属物に触れて静電気を放電してください。

注意　各コネクタには保護キャップがついています。接続するコネクタ部分の保護キャップのみ外して下さい。使用されないコネクタは保護キャップを付けておいて下さい。

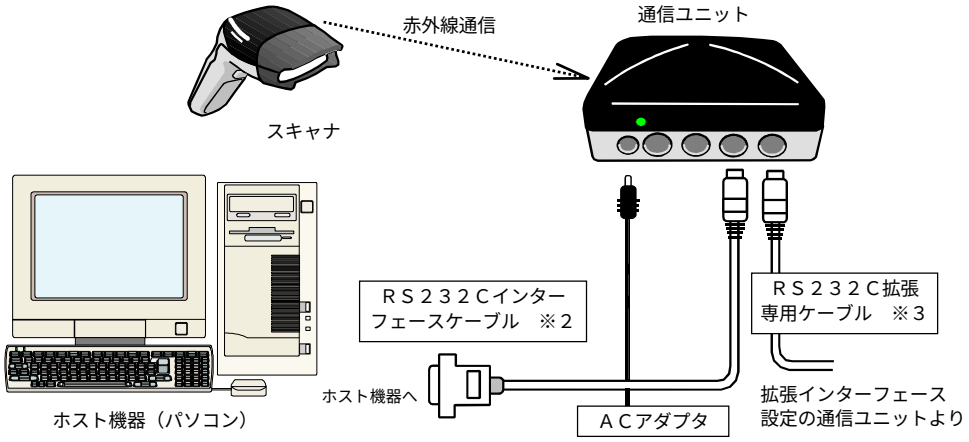
各インターフェースの接続方法については次項をご参照ください。

１．キーボードインターフェース仕様の場合、通信ユニットはホスト機器（パソコン）とキーボードの間に接続されます。キーボードケーブル※１を通信ユニットのＫ／Ｂコネクタに接続し、付属のキーボードインターフェースケーブルをホスト機器（パソコン）のキーボード入力コネクタに接続してください。



キーボードインターフェース仕様の接続

２．ＲＳ２３２Ｃインターフェース仕様の場合、ＲＳ２３２Ｃインターフェースケーブル※２を通信ユニットのＲＳ１コネクタとホスト機器（パソコン）のＲＳ２３２Ｃ入力コネクタに接続してください。



ＲＳ２３２Ｃインターフェース仕様の接続

３．拡張インターフェース仕様の場合、ＲＳ２３２Ｃ拡張専用ケーブル（オプション）で、※３の拡張インターフェース設定の通信ユニットを接続します。

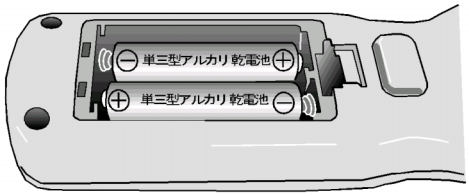
４．最後にＡＣアダプタをコンセントに接続してください。

注意 ケーブルの接続にはコネクタの向きに注意してください。ホスト機器（パソコン）の種類によって上下位置が違っている場合があります。

注意 本装置を長期間ご使用にならないときは安全のためにＡＣアダプタをコンセントから抜いておいてください。但し、キーボードインターフェースでご使用の場合は、ホスト機器（パソコン）の電源を落としてから、ＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。また、ホスト機器（パソコン）を立ち上げる前にＡＣアダプタをコンセントに接続してください。

ご使用の前の準備

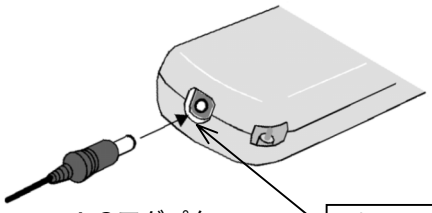
スキャナの電池は、市販の単三型アルカリ乾電池２個、又は単三型ニッケル水素充電池（オプション）２個をご使用下さい。



電池を、スキャナの電池ケースにセットしてください。電池ケースの上部レバーを押し下げて引けば簡単にふたを開ける事ができます。ケースのふたをあけてケース内側の図示のプラス，マイナス間違えないように電池をセットしてください。電池をセットしたあとは必ず、ケースのふたを閉めてください。

ＡＣアダプタでのご使用

スキャナはＡＣアダプタでもご使用いただけます。スキャナ後部のＡＣアダプタジャックに専用のＡＣアダプタ（別売り）を差込んで下さい。



メモ　ＡＣアダプタは、緊急時の電源としてお使い頂けます。

２．３　本装置の使い方

本装置の具体的な使い方を説明します。

電源のいれかた

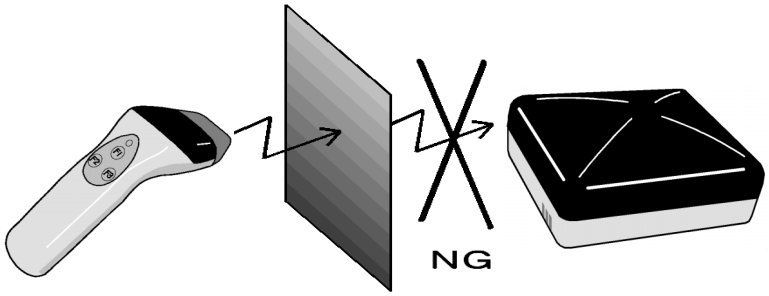
本装置の通信ユニットには電源スイッチはありません。ＡＣアダプタを接続することで電源が入ります。スキャナは常に待機状態です、読取りスイッチやファンクションスイッチを押すことで動作します。

注意　通信ユニットはバーコードデータをホスト機器（パソコン）に送る装置です。通信ユニット単独では使用できませんのでホスト機器（パソコン）の電源を入れる前にＡＣアダプタを接続して下さい。

注意　キーボードインターフェースでご使用の場合、ホスト機器（パソコン）をご使用時には、通信ユニットにＡＣアダプタを接続した状態でホスト機器（パソコン）の電源を投入して下さい。通信ユニットの電源がオン状態のみ、キーボードをご使用いただけます。

通信ユニットの置き場所

本装置の特長である赤外線通信は、スキャナと通信ユニットとの間で行われます。赤外線は直進しますのでスキャナと通信ユニットの間に遮蔽物がないように設置してください。各装置のデータ送受信は、黒色の赤外線透過フィルタ部より行っています。通信ユニットはこの部分をスキャナに向けて設置してください。スキャナは通信ユニットの正面で最大１０ｍの通信が可能です。



遮蔽物があると通信できません

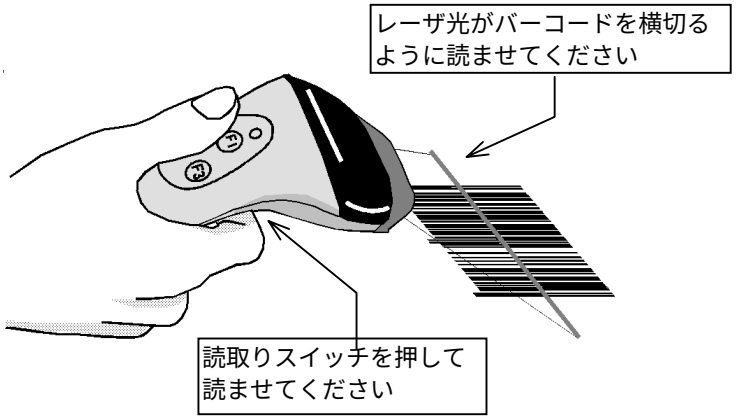
注意 赤外線透過フィルタを手やシールなどで覆わないでください。データ通信ができなくなります。

注意 太陽光は、赤外線を含む光が非常に強いため赤外線通信の妨げとなります。直射日光のあたる場所には設置しないでください。

メモ 赤外線は直進しかできませんが、壁や天井などの反射を利用すれば、遮蔽物があっても通信することができます。但し、環境によって異なりますので充分にテストをしてください。

バーコードの読ませかた

バーコードを読ませるときは、スキャナのレーザ光をバーコードに向けて読取りスイッチを押してください。その時レーザ光がバーコードを横切るようにしてください。バーコードを読取るとレーザ光は消えます。



メモ

スキャナはバーコードを読ませたとき、スキャナの上部または前部を通信ユニットに向けているほうが望ましいのですが、人体（白シャツが有効）に反射する赤外線も有効です。通信しにくいとき以外は特に問題はありません。

ファンクションスイッチ

ファンクションスイッチは、ホスト機器（パソコン）の画面を切り替えたいときなど、バーコード以外のコードをホスト機器（パソコン）に転送したいときに、任意に設定したコードを送ることができます。ファンクションスイッチは、3 つありそれぞれ設定できます。詳しくは、セットアップマニュアルをご覧ください。

ＬＥＤとブザーの動作

本装置は、ＬＥＤとブザーによって装置の状態を知らせることができます。

○スキャナ

電源状況	動作状況	ＬＥＤ	ブザー	備考
ＰＯＷＥＲ ＯＦＦ	待機中	消灯	なし	
ＰＯＷＥＲ ＯＮ	バーコード データ再送中	赤点滅	なし	設定により切替え可能
	バーコード データ転送完了	なし	なし	デフォルト
		緑点灯	ピッ	設定により切替え可能
		赤点灯	ピッ	設定により切替え可能
低電圧検知 １次電池 ※１	１次警告	赤点灯	ピッピッピッ	2.6Ｖ以下検知
	２次警告	赤点灯（５秒間）	ピッピッピッ ×５回	2.5Ｖ以下検知 （動作停止）
低電圧検知 ２次電池 ※２	１次警告	赤点灯	ピッピッピッ	2.2Ｖ以下検知
	２次警告	赤点灯（５秒間）	ピッピッピッ ×５回	2.1Ｖ以下検知 （動作停止）
セットアップ 仕様	開始バーコード読取り	なし	ピーピッピッ	
	セットアップ中	緑点滅	なし	
	セットアップ バーコード読取り	黄点灯（瞬時）	ピッ	
	オプションコード 読取り	黄点灯（瞬時）	ピッ	
	エラーバーコード 読取り	黄点灯（瞬時）	ピッピッピッ	
ＰＯＷＥＲ ＯＮ	バーコードデータ 読取り完了	緑点灯	ピッ	設定により切替え可能
		赤点灯	ピッ	設定により切替え可能
		なし	なし	設定により切替え可能
	赤外線通信エラー	赤点灯	ピッピッピッ	設定により切替え可能
		なし	なし	設定により切替え可能

メモ

※１　１次電池とは単三型アルカリ乾電池を意味します。
※２　２次電池とは単三型ニッケル水素充電池等の充電する事で
繰り返し使用できる電池を意味します。

○通信ユニット

電源状況	動作状況	ＬＥＤ	ブザー	備考
ＰＯＷＥＲ ＯＦＦ		消灯	なし	
ＰＯＷＥＲ ＯＮ	ホスト機器（パソコン） 電源オン時	緑点灯	ピッ	キーボードインター フェース仕様のみ ブザー鳴動
	動作可	緑点灯	なし	
	データ処理中	黄点灯	なし	
セットアップ 仕様	開始バーコード読取り	なし	ピーピッピッ	
	セットアップ中	緑点滅	なし	
	セットアップ バーコード読取り	緑点滅	ピッ	
	オプションコード 読取り	緑点滅	ピッ	
	エラーバーコード 読取り	緑点滅	ピッピッピッ	
	オプションコード読取り	緑点滅	ピッ	
ＰＯＷＥＲ ＯＮ	バーコードデータ読取り完了	黄点灯後、緑点灯	ピッ	設定によりブザー無しが可能
ＰＯＷＥＲ ＯＮ	装置異常	赤点灯	なし	※３
ＰＯＷＥＲ ＯＮ	赤外線異常	黄点滅	なし	※４

メモ

※３　装置異常になった場合、メーカ修理が必要です。
※４　赤外線異常になった場合、太陽光、他の機器の赤外線通信等、
外部からの妨害を受けていることが考えられます。

複数台のご使用

ＰＤＣ－８１２ｉＲは複数台のご使用ができます。
通常はスキャナと通信ユニットが１対１で伝送を行います。
スキャナのＩＤ設定で２対１、３対１、４対１といった、４台までのスキャナを１つの通信ユニットで伝送できます。
通信ユニットＩＤは９６台分の設定ができます。また、各通信ユニットにスキャナ４台ずつ設定でき、同一空間での使用が可能です。
ＩＤのデフォルト値は次の様に設定されます。
＊スキャナ側：スキャナＩＤ「００１」、通信ユニットＩＤ「００１」
＊通信ユニット側：通信ユニットＩＤ「００１」

注意 ＩＤ設定にはスキャナと通信ユニットの両方を設定する必要があります。

メモ 同一空間とは、光伝送で相互に干渉し合う赤外線通信距離の１０ｍを半径とした空間のことです。

メモ 遮蔽物のある隣の部屋などでは、同じＩＤでも使用可能ですが、他から持ち込んでの使用もできるためＩＤを変えられることをお進めいたします。

ＩＤの設定

通信ユニットは底面にあるロータリスイッチ（ＳＬ２，ＳＬ１）で行います。
スキャナはバーコードメニューで行います。
詳しくは、セットアップマニュアルをご覧ください。

第３章　本装置の仕様

本章は、本装置の仕様やトラブルが起こったときの対処方法について説明しています。また、アフターサポートの連絡先も記載しています。本装置の仕様を知りたいとき、またトラブルで困ったときにお読みください。

３．１　製品仕様

・スキャナ

読取りコード	ＪＡＮ／ＥＡＮ／ＵＰＣ、ＣＯＤＡＢＡＲ（NW7）、CODE39、インターリーブド２of５、インダストリアル２of５、CODE128、ＥＡＮ-１２８
読取り方式	可視光半導体レーザ方式（波長６８０nm VLD １mW クラス２）
供給電源	単三型アルカリ乾電池、又は単三型ニッケル水素充電池、 ＡＣアダプタ（ＩＮ ＡＣ１００Ｖ ５０／６０Ｈｚ １０ＶＡタイプ）
電池寿命	単三型アルカリ乾電池：７５Ｈ、 単三型ニッケル水素充電池：５０Ｈ（当社指定品にて） （条件：間欠読取り５秒に１回の間隔）
最小分解能	０．１２７mm
使用温度	５～４０℃
使用湿度	２０～８５％（但し、非結露）
外観寸法	７０（W）×２００（D）×７６（H） mm
重　　量	２３０ｇ（乾電池含む）

・通信ユニット（受光部）

通信方式	赤外線通信方式（自動感度調節機能付き、ＦＳＫ変調方式）
通信距離	見通しＭＡＸ１０m（障害物環境等により異なります。）
供給電源	ＡＣアダプタ（ＩＮ ＡＣ１００Ｖ ５０／６０Ｈｚ １０ＶＡタイプ）
ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ 又は RS232C（設定にて切換可能）
拡張ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	ＲＳ２３２Ｃ拡張専用ケーブルにて接続（設定にて切換可能）
使用温度	５～４０℃
使用湿度	２０～８５％（但し、非結露）
外観寸法	１３２（W）×１１１（D）×５６（H） mm
重　　量	約３００ｇ（ケーブル、ＡＣアダプタ含まず）

３．２　困ったときは

○ホスト機器（パソコン）本体がキーボードエラーを認識した。
→キーボードが本装置に接続されていますか？ →ホスト機器（パソコン）と本装置が接続されていますか？ →本装置の電源は入っていますか？

○文字が抜ける
→文字間ディレイを長くしてみてください。 （セットアップマニュアルの伝送時間調整設定を参照願います。）

○大文字が小文字に、小文字が大文字に変わる。
→文字間ディレイを長くしてみてください。 （セットアップマニュアルの伝送時間調整設定を参照願います。）

○バーコードが読めない。
→本装置が対応しているバーコードか確認してください。 （仕様を確認してください） →バーコードの印刷が薄い，汚れていると読みづらくなります。

○読取りスイッチを押してもレーザが出ない。
→スキャナに電池が入っていますか？ →電池が正常にセットされていますか？

○光伝送が行われない。伝送終了のブザーが鳴らない。 →スキャナと通信ユニットの間に遮蔽物はありませんか？ →スキャナか通信ユニットに直射日光が当たっていませんか？

お問い合わせ

日本システム開発株式会社

本　社
〒５５０－００１３　大阪市西区新町１丁目７番２０号
TEL　06-4391-9880　　FAX　06-4391-9878

営業拠点

東　京
〒１４１－００３１　東京都品川区西五反田２丁目２１番１号 五反田Ｋビル６Ｆ
TEL　03-5436-2211　　FAX　03-5436-2212

名古屋
〒460-0003　愛知県名古屋市中区錦２丁目２番１３号 名古屋センタービル６Ｆ
TEL　052-218-6616　　FAX　052-218-6676

大　阪
〒５５０－００１３　大阪市西区新町１丁目７番２０号
TEL　06-4391-9881　　FAX　06-4391-9879

北関東
〒370-0046　群馬県高崎市江木町 1626-1　1F
TEL　027-320-6696　　FAX　027-320-6695

福　岡
〒８１２－００１４
福岡市博多区比恵町３－１７ フェイズイン博多ビル２Ｆ
TEL　092-432-2130　　FAX　092-432-2136

技術的なお問い合わせは
　サポートサイト　http://www.systemgear.co.jp/support/

最新情報はインターネットをご覧ください
　http://www.systemgear.com

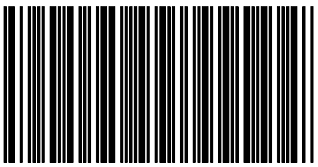
付　サンプルバーコード

ＵＰＣ－Ａ

ＵＰＣ－Ｅ

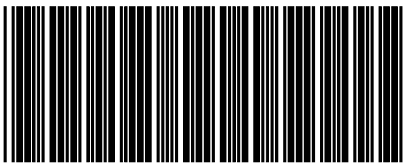
ＥＡＮ／ＪＡＮ－１３

ＥＡＮ／ＪＡＮ－８



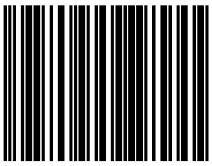
a0123456789a

CODABAR（NW－7）



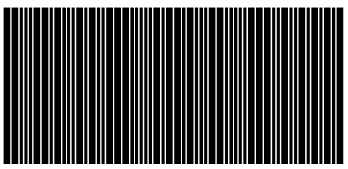
0123456789

CODE39



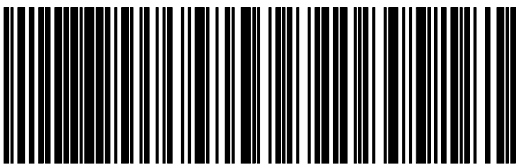
0123456789

インターリーブド 2of5



0123456789

インダストリアル 2of5



01234BarCode-Test.

CODE128

保　証　書（兼 修理依頼票）

本紙はコピーしてお使いください

保証期間は、弊社出荷日より１年です。保証又は修理を依頼されるときは、できるだけ詳しくご記入の上、製品といっしょに送付してください。

宛　先

〒665-0045　兵庫県宝塚市光明町３０番１２号
TEL 0797-74-1114 FAX 0797-74-2212　　株式会社システムギアダイレクト 行

ご依頼主

会社名：
お名前：　　部署：
ご住所：〒
ＴＥＬ：（　　）　　－　　[内線　　]
ＦＡＸ：（　　）　　－

製品情報	製品名	PDC-812iR	シリアル№	
		本体裏側の号機シールに記載のシリアル№を転記してください。		
	購入日	年　　月　　日（必ずご記入して下さい）		
	設定状態			
	添付品			
使用環境	ＯＳ	□Windows（　　） □その他（　　）		
	ソフト	□製品名（　　） □製作言語（　　） □その他（　　）		
	添付品	□通信ケーブル（　　本）　□メディア（ＦＤ／ＣＤ） □磁気カード（　　枚）　□その他（　　）		
症　状		□ある日突然　□環境変更後　□常時　□頻繁　□ときどき（　回／　回）		
修理有料時の見積り		□必要（　　円以上のとき）　□見積不要ですぐに修理 □修理不要		

※Windows は、米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

保　証　規　定

この規定は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。

１．この製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。

２．取扱説明書に従って正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合はお買上げの販売店または、保証書に記載の送り先まで修理品と共にお送りください。無償修理させていただきます。

３．保証範囲は本体および付属機器に限らせていただきます（ケーブルは、保証範囲外となります）。

４．保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

(1)　保証書にご購入日の記載がない場合
(2)　お客様による輸送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合
(3)　火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合
(4)　本製品に異常がなく、他の機器に起因して本製品に故障が生じた場合
(5)　当社以外で修理、調整、改造され、それが原因となり故障した場合
(6)　お客様側の希望により、ソフトウェア（ＲＯＭ）をバージョンアップする場合

５．この規定は、日本国内においてのみ有効です。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

おことわり

●本書の一部あるいは全部を無断で転載することは固くお断りします。
●本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
●本書記載製品の販売・生産・保守について、予告・通知なく中止する事があります。
詳しくは、下記弊社ホームページをご覧ください。
http://www.systemgear.co.jp/support/stop/index.html
●製品の仕様、規格及び外観は、改良の為、予告なく変更する事があります。
●印刷の関係上、本取扱説明書に使用した写真及び画面は、色や細部等が実際と異なる場合がありますのでご了承ください。
●保守対応期間は、弊社販売中止から基本５年間ですが、諸事情により異なる場合があります。
●弊社の保守サービスを受けるには、ユーザー登録が必要です。
●ユーザー登録は、弊社のホームページから登録してください。
https://www.systemgear.com/support/regist/web_form.html
●本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
●本機の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求に付きましては、上記の理由にかかわらずいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

ＰＤＣ－８１２ｉＲ　取扱説明書

１９９９年　４月　１日　初版発行
２００９年 １０月２１日　８版発行

発行　日本システム開発株式会社

〒665-0045　兵庫県宝塚市光明町３０番１２号
TEL　0797-74-2205　　FAX　0797-74-2212

(BK0007A01-8)

SystemGear

Always the next news